

資料 3

新秋地総第 1 1 5 6 号
令和 4 年 1 1 月 1 7 日

秋葉区自治協議会
会長 金子 洋二 様

新潟市長 中原 八一
(担当 秋葉区役所地域総務課)

秋葉区の特色ある区づくり関連事業の企画立案について（意見聴取）

新潟市区自治協議会条例（平成 1 8 年条例第 7 4 号）第 7 条第 1 項第 3 号の規定により、下記事項について貴自治協議会の意見を求めます。

記

- 1 令和 5 年度 秋葉区の特色ある区づくり関連事業の企画立案について

令和 5 年度 秋葉区 特色ある区づくり関連事業 一覧

区ビジョン					事業目的
番号	事業名	事業期間	担当課	予算額	
環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち					
1	秋葉区の花と緑にふれあい隊	継続	2～5	建設課	6,500
		区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行うことで、「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」の実現を推進する。			
やさしさがあふれる楽しく元気なまち					
2	アキハで認知症サポートネット	継続	2～7	健康福祉課	774
		区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめ、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指す。			
3	「つながる」「広げる」障がい者支援	継続	4～6	健康福祉課	503
		障がい者理解を広げてつながることを目的とし、支援システムづくりを行う。			
4	げんきに育つ親も子も ～妊娠期から支え、見守る～	継続	4～6	健康福祉課	5,880
		妊娠期からの母子を支援する体制をつくり、各種子育て支援事業を実施することで、親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。			
5	アキハで生涯げんき！ ～地域ぐるみでフレイル予防～	継続	4～6	健康福祉課	403
		健康的な生活習慣を身につけ、日常生活の中での運動習慣の定着を目的に、身近な地域でフレイル予防やロコモ予防の実践方法の普及啓発を行い、住民が支え合いながら健康づくり活動を継続できるよう支援する。			
6	持続可能なげんきな体！ ～12歳からのSDGs～	継続	4～6	健康福祉課	1,066
		子どもの生活習慣を見直すことで、保護者や祖父母の生活習慣の改善につなげ、世帯での健康度をあげ、延いては地域全体の健康増進に寄与する。			
歴史と個性を活かすまち					
7	アキハの宝こども探検ツアー	継続	2～5	新津地区公民館	165
		秋葉区独自の宝(個性)を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。			
8	アキハスムプロジェクト vol.3	継続	4～6	地域総務課	6,044
		地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特性・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。			
9	秋葉「鉄道物語」	継続	3～5	産業振興課	4,484
		区民や商店街などと連携した鉄道に関する地域資源の活用並びに新津駅東口「あ！キハ観光案内所」における情報発信を通じて、「鉄道の街にいつ」への愛着や誇りを育むとともに、まちなかの活性化と交流人口の増加を図る。JR新潟支社と連携し、独身者の出会いの場になるような企画を実施する。			
10	わくわく石油学習事業	継続	4～6	産業振興課	887
		秋葉区内の石油湧出を契機に、小学生を中心に石油の世界館や鉱場跡、地層などの施設並びに現地の見学を含めた講座を開催し、区独自の石油に関する歴史や文化に対する理解を深めてもらうとともに、地域への関心につなげてもらう。			

区ビジョン					
番号	事業名				事業目的
	新規	継続	事業期間	担当課	
可能性を生み出し・育て・活かすまち					
11	花まる鉢花支援事業				鉢花の需要拡大を図るため、市内外における宣伝PR、特に県外花市場でのPRに力を入れるとともに、鉢花商談会の地元開催に対して支援を行う。
	継続		4~6	産業振興課	
12	アキハウ ^{まい} ん米推進事業				全国的な主食用米の需要減少は、水田単作地帯である秋葉区産米の販売量に影響を及ぼすことから、区の特徴を生かしたレシピの周知や試食などを通じた米の需要喚起に取り組む。
	継続		4~5	産業振興課	
13	アキハもち麦推進事業 vol.2				機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興及び販売・消費拡大等に必要な支援を行う。
	新規		5~7	産業振興課	

1	事業名	[継続] 秋葉区の花と緑にふれあい隊(旧 優歩道歩いてみ隊)	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	環境に配慮した潤いとやすらぎのある まち		
事業目的	区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行うことで、「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」の実現を推進する。		
事業概要	<p>(1) 区民協働での緑花保全の促進 区民協働によるクリーン作戦の開催や除草機械の貸出しにより、地域団体による環境整備活動の促進を図る。また、R403号新津バイパスの道路拡幅予定地を活用し、区民協働による「フラワーロード」を出現させることで区の特徴である花と緑をPRし、花と緑に親しむ意識とシビックプライドの醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働クリーン作戦の実施(新津川・秋葉公園) ・環境整備促進のための機材貸与 ・国道403号フラワーロード実行委員会と協働したフラワーロード事業の実施 <p>(2) 施設の整備 遊歩道の案内サインの設置や更新、トイレの改修などの施設整備を行い、利便性の向上による利用者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内サインの設置など利便性の向上 		
最終 成果指標 目標	クリーン作戦・遊歩道環境整備等の区民参加者数 1700人		
R2 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R2 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 205人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 144人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 ・新津川水仙球根植え 165人 累計 514人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R3 年度 <2年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 285人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 207人 ・新津川水仙球追肥、根植え 80人 ・秋葉公園クリーン作戦 49人 累計 621人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円

1	事業名	[継続] 秋葉区の花と緑にふれあい隊 (旧 優歩道歩いてみ隊)	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
R4 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 千円
R5 年度 <4年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 100人 ・フラワーロード種まき作業 50人 ・遊歩道に案内板の設置、公園トイレの洋式化、菩提寺山遊歩道入口駐車場の整備 		
事業費	予算額	6,500 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	14,000 千円	決算合計 5,000 千円

2	事業名	[継続] アキハで認知症サポートネット	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度		
区ビジョン	やさしさがあふれる楽しく元気な まち		
事業目的	区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめ、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指す。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①区民対象の「認知症講演会」の開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座の開催 ③関係機関との認知症に関する会議の開催 ④キャラバンメイトの交流会を開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回開催 ③関係機関との認知症に関する会議 1回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R2 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回開催 ③関係機関との認知症に関する会議 1回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R2 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①新潟市YouTubeチャンネルでの配信で開催 全4回、延べ再生回数926回 ②開催を断念 ③1回開催。10の関係機関が参加 ④開催を断念 ⑤9月から4回開催し、延べ42人が参加 		
事業費	予算額	550 千円	決算額 353 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R3 年度 <2年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 zoom配信で後日DVD貸し出しを行う ②認知症サポーターのスキルアップ講座 コロナ感染拡大予防のため中止 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回開催 ④キャラバンメイト交流会 コロナ感染拡大予防のため中止 ⑤認知症カフェの支援 1回開催、19人が参加 コロナ感染拡大予防のため回数減 		
事業費	予算額	650 千円	決算額 505 千円

2	事業名	[継続] アキハで認知症サポートネット	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援		
事業費	予算額	650 千円	決算額 千円
R5 年度 〈4年目〉 成果指標 目標	①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 ⑥見守りシール交付		
事業費	予算額	774 千円	決算額 千円
R6 年度 〈4年目〉 成果指標 目標	①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 ⑥見守りシール交付		
事業費	予算額	774 千円	決算額 千円
R7 年度 〈4年目〉 成果指標 目標	①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 ⑥見守りシール交付		
事業費	予算額	774 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	4,172 千円	決算合計 858 千円

3	事業名	[継続] 「つながる」「広げる」障がい者支援	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	やさしさがあふれる楽しく元気な まち		
事業目的	○障がい者理解を広げてつながることを目的とし、支援システムづくりを行う。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイルの作成・配付 発達に支援の必要な子どもに関わる医療・保健・福祉・教育・労働などの各機関が保護者とともに必要な情報を共有するための「つながる支援ファイル」を作成・配付し、活用を図る。 ・保護者支援講座の開催 療育教室「なのはな」や経過観察事業「ポップあそびのへや」を利用している子どもの保護者を対象にNPプログラム講座を開催し、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進することで不安感や孤立感の解消を図る。 ・障がい者理解講座の開催 市民を対象に、障がい者への理解を深め地域で支える仕組みづくりを考える機会として開催し、支援者・理解者の輪を広げる。 		
最終 成果指標 目標	・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座	利用者（配付）数 220人 6回コースの講座を実施 年1回実施	
R4 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座	利用者（配付）数 180人 6回コースの講座を実施 精神障がいについての講座を実施	
事業費	予算額	503 千円	決算額 千円
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座	利用者（配付）数 200人 6回コースの講座を実施 発達障がいについての講座を実施	
事業費	予算額	503 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座	利用者（配付）数 220人 6回コースの講座を実施 知的障がいについての講座を実施	
事業費	予算額	503 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,509 千円	決算合計 0 千円

4	事業名	[継続] げんきに育つ親も子も ～妊娠期から支え、見守る～	
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度		
区ビジョン	やさしさがあふれる楽しく元気な まち		
事業目的	妊娠期からの母子を支援する体制をつくり、各種子育て支援事業を実施することで、親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①出張型親子の居場所 「小さな森の広場」(区内5か所、新生児～未就学児向け) 「子どもの居場所」(区内9か所、就学児向け) ②中学生勉強会(ひとり親、生活保護世帯対象) 新津地域交流センター ③産前産後リフレッシュ事業 ・パバママ銭湯 ・デイケアルーム ④子育てサポーター訪問事業 妊娠期と出産後4か月に研修を受けた子育て支援サポーター「CO_COアキハ」のメンバーが家庭訪問し、地域の子育てに関する情報や絵本を渡す。 (必要に応じて保健師や関係機関につなぐ役割もある) ⑤1歳のお誕生相談会 ⑥子育て支援者連絡会 秋葉区で子育てに関する事業を行う事業者・団体が情報共有する場を設け 地域の子育て支援 についての理解を深める。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問 		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数 		
事業費	予算額	4,640 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数 		
事業費	予算額	5,880 千円	決算額 千円
R6 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数 		
事業費	予算額	4,640 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	15,160 千円	決算合計 0 千円

5	事業名	[継続] アキハで生涯げんき!～地域ぐるみでフレイル予防～	
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度		
区ビジョン	やさしさがあふれる楽しく元気な まち		
事業目的	<p>新型コロナウイルス感染対策による身体活動量の低下から、高齢者のフレイル（適切な対応をすれば健康な状態に戻れる虚弱な状態）だけでなく、子どものロコモ（運動能力の低下）が懸念される。健康的な生活習慣を身につけ日常生活の中での運動習慣の定着を目的に、身近な地域でフレイル予防やロコモ予防の実践方法の普及啓発を行い、住民が支え合いながら健康づくり活動を継続できるよう支援する。</p>		
事業概要	<p>(1) フレイル予防教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進課事業のフレイルチェック実施後に、口腔ケア、低栄養をテーマにした2回コースの教室を3か所で実施する。 令和2年度の実施地区も含め、地域で予防の取り組みが継続できるよう支援する。 <p>(2) 各地域でのフレイル予防の普及啓発、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主催のイベント等で、フレイル予防の普及啓発活動を行う。 ・現在サロン等で実施しているロコモ予防運動が継続してできるよう支援 <p>(3) 幅広い世代を対象にラジオ体操や運動を普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協と連携して放課後児童クラブ等に定期的に出向いてラジオ体操や運動を実施し、地域で継続できるよう支援する。 <p>(4) PPKサポーター等住民サポーターのフォロー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPKサポーター、フレイルサポーター、運推の資質向上を図るため、研修会を実施 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規3団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規6団体 		
R4年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規1団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規2団体 		
事業費	予算額	406 千円	決算額 千円
R5年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規1団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規2団体 		
事業費	予算額	403 千円	決算額 千円
R6年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規1団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規2団体 		
事業費	予算額	406	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1215 千円	決算合計 0 千円

6	事業名	[継続] 持続可能なげんきな体! ~12歳からのSDGs~	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	やさしさがあふれる楽しく元気な まち		
事業目的	<p>子どものうちから自分の健康に関心を持ち、自分の生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を身につけることを目的とする。</p> <p>子どもの生活習慣を見直すことで、保護者や祖父母の生活習慣の改善につなげ、世帯での健康度をあげ、延いては地域全体の健康増進に寄与する。</p>		
事業概要	<p>●事業概要</p> <p>(1)小学校6年生を対象に、小児生活習慣病健診を実施し、結果に応じ、個別相談会を実施。</p> <p>(2)小学校6年生とその保護者対象に、生活習慣に関する講演会を開催(運動・栄養 各1回)</p> <p>●背景</p> <p>秋葉区は市内で最も血糖の有所見者の割合が高い。また、夕食後の間食習慣の割合が高い、運動習慣のない人の割合が多いなど、生活習慣の見直しが必要な人が多い。親世代、祖父母世代の望ましくない生活習慣の世代間連鎖を断ち切り、子どものころから健康的な生活習慣を身につけていくことが必要である。</p>		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率25%を達成する (参考:教育委員会の実施する生活習慣病健診の受診率は12%程度) 		
R4 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率15%を達成 ・講演会の参加者 60組 (区内小学校6年生の約1割) 		
事業費	予算額	960 千円	決算額 千円
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率15%を達成 ・講演会の参加者 60組 (区内小学校6年生の約1割) 		
事業費	予算額	1,066 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率20%を達成 ・講演会の参加者 60組 (区内小学校6年生の約1割) 		
事業費	予算額	1,160 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,186 千円	決算合計 0 千円

7	事業名	[継続] アキハの宝こども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。		
事業概要	<p>◆対象 小学生を対象</p> <p>◆内容</p> <p>「チャレンジ!あきは体験隊」 ※地域と連携して歴史や文化を体験 各地区の施設見学、まち歩き体験など</p> <p>「あきはっ子里山体験隊」 ※里山を舞台に自然・歴史・文化を体験 自然観察、古代生活体験、産業遺産の見学など</p> <p>「秋葉教育懇談会」 ※令和3年度まで 区内教育関係者等を対象にして区の個性を活かした子どもの教育環境について外部講師を交え、意見交換を行う。 ※秋葉区教育懇談会は、令和4年度から秋葉区地域総務課の事業に移管しました。</p>		
最終 成果指標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R2 年度 〈1年目〉 成果指標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R2 年度 〈1年目〉 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/10（土）9:30~11:30 ・新津駅構内と新津本町のまち歩きを実施 ・参加者 小学4~6年生 8名 （ほかにガイド3名、スタッフ等5人） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/24（土）9:30~11:30 ・弥生の丘展示館でまが玉づくりと火おこし体験 ・参加者 小学4~6年生 16名 <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/1（火）14:00~16:00 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 78 千円
R3 年度 〈2年目〉 成果指標	<p>◆達成指標 2講座以上を実施</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実</p>		
R3 年度 〈2年目〉 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/7（土）9:30~12:00 ・小須戸町屋（薩摩屋と周辺地区）のまち歩きと凧作りを実施 ・参加者 小学4~6年生 11名 （ほかにスタッフ等8名） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/22（日）9:30~12:00 ・新潟県立植物園で植物採集と植物標本作りを実施 ・参加者 小学4~6年生 15名 （ほかにスタッフ等5名） <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 56 千円

7	事業名	[継続] アキハの宝こども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 5 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標	◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実		
事業費	予算額	195 千円	決算額 千円
R5 年度 〈4年目〉 成果指標	◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実		
事業費	予算額	165 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1060 千円	決算合計 134 千円

8	事業名	[継続] アキハスムプロジェクトvol.3	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。		
事業概要	<p>県外の移住希望者へ向けた移住・定住に関する継続的な情報提供と区民の地域への愛着形成を促進する。市外・県外在住者へ向けた定期的なオンライン移住相談会の開催と継続的な秋葉区の情報発信を行う。同時に、アキハスムプレーヤーなどの活動団体を支援するためのスキームの構築を行い、区民が主体となり秋葉区へ人を呼び込む取り組みの実施や様々な広報媒体を活用した情報発信を自ら行うことで、地域に対する愛着形成と人財育成を図る。</p> <p>また、地域が教育に積極的にかかわることで地域課題の解決の学習を通じて、児童・生徒に地域アイデンティティの醸成を図る。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会 ○移住相談コンシェルジュの配置運営 ○動画特集サイトの構築と発信 ○Akiha女子など自主的に活動する団体の支援と新たな人財の発掘 ○移住モデル地区（金津里山地区）支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置運営 ○自主的に活動する団体を支援できるプラットフォームの構築 ○コミュニティ・スクールの活性化と地域の教育力向上 		
R4 年度 〈1 年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○自主的な活動を行う団体の支援としくみづくりの検討 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
事業費	予算額	2,910 千円	決算額 千円
R5 年度 〈2 年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの構築と運用 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
事業費	予算額	6,044 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3 年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○移住相談コンシェルジュの配置と運営 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの運用 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
事業費	予算額	6,044 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	14,998 千円	決算合計 0 千円

9	事業名	[継続] 秋葉「鉄道物語」	
事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	<p>これまでに培った新津の鉄道に関する施設・歴史・人材などの地域資源を、商店街・地域住民・子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、「鉄道」を基軸に街づくりに取り組む地域との連携を図り、さらなるまちなか活性化と交流人口の増加を図る。その交流の結節点でもある秋葉区の玄関口、JR新津駅を訪れた方々に秋葉区の情報を届けながら再訪の縁を探る。区内の情報発信・観光案内に携わる企業体の現出を図る。あわせて、令和5年度はJR東日本新潟支社と連携し、独身者の出会いの場になるような企画を提案する。</p>		
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 「にいつ鉄道商店街」（商店街への誘客, 交流人口拡大） 2 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）新潟支社との連携事業（にいつ鉄道フェスタなど） 3 阿賀・会津等との観光連携（東北DC対応など） 4 あ！キハ観光案内所運營業務 		
最終 成果指標 目標	鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街 300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人		
R3 年度 <1年目> 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人		
R3 年度 <1年目> 実施状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、にいつ鉄道フェスタが中止となった。 そんな中、にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を24回実施した。また、にいつ鉄道商店街などと連携し「TRAIN SUITE 四季島」の出迎えを9回、「SLばんえつ物語」号のお見送りを3回実施した。 新潟市補助事業を活用した「鉄ぶら抽選会」を支援し、抽選回数は3,418回となり、昨年（2,726回）比で25%増加した。 観光連携では、コロナ禍の影響で行事が中止になったが、代わりに磐越西線SL定期運行推進協議会及び阿賀野川ライン観光協会で作成し、沿線の魅力を発信した。 観光案内所の来所者数は10,765名となり、昨年（9,361人）比15%増加した。		
	3,370 千円	決算額	2,867 千円
R4 年度 <2年目> 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 8,000人		
	予算額	3,484 千円	決算額 千円
R5 年度 <3年目> 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 （鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人） 観光案内所来所者数 10,000人		
事業費	予算額	4,484 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	11,338 千円	決算合計 2,867 千円

10	事業名	[継続] わくわく石油楽習事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区の丘陵では、古くから石油が採掘され、それを暮らしに利用してきた。この「石油文化」について、小学生を中心に普及啓発を進め、理解を深めてもらう。		
事業概要	石油の世界館友の会、石油の世界館指定管理者と連携し、リニューアルされた石油の世界館、一の沢地層観察コース、国指定史跡新津油田金津鉱場跡の施設など現地見学を含めた講座を開催する。あわせて一般向けについても、イベント等に合わせて開催。		
最終 成果指標 目標	小学生、一般向け合計600人の参加（3年で12校）		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月中旬から楽習事業を実施する予定です。 今年度は5校の小学校（結小学校、新関小学校、新津第一小学校、小合小学校、金津小学校の6年生251人）が参加を予定しています。 目標 150人の参加		
事業費	予算額	924 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、事業を実施する。 R5年度は5校の小学校（6年生250人）からの参加を目標に取り組みます。		
事業費	予算額	887 千円	決算額 千円
R6 年度 <3年目> 成果指標 目標	250人の参加		
事業費	予算額	1,300 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,111 千円	決算合計 0 千円

11	事業名	[継続] 花まる鉢花支援事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	可能性を生み出し・育て・活かす まち		
事業目的	新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験(令和4年度で終了) 市内外での鉢花宣伝PR 県内外花きバイヤーを対象とした鉢花商談会の開催		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験(令和4年度で終了) 新日本海フェリーあざれあ号での秋葉区産アザレア展示PR 卒園・入園式で秋葉区産の鉢花の展示PR 新潟県花木振興協議会と新潟県花き出荷組合と連携した県内外バイヤー鉢花商談会の開催 		
最終 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 遠方市場流通量 前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること (令和4年度で終了するため、令和5年度に報告) 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 鉢花見本市 鉢花見本市における出荷金額の向上。(基準年度の出荷金額を上回る。) ※基準年度は令和4年度に実施した見本市での出荷金額とした。(コロナ禍でR2, R3未実施) 		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	予算組替「鉢花流通安定化社会実験(3年目)」 <ul style="list-style-type: none"> 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること 鉢花商談会 鉢花見本市における出荷金額の向上。 		
事業費	予算額	3,890 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 鉢花見本市 鉢花見本市における出荷金額の向上。(基準年度の出荷金額を上回る。) 		
事業費	予算額	1,335 千円	決算額 千円
R6 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 鉢花見本市 鉢花見本市における出荷金額の向上。(基準年度の出荷金額を上回る。) 		
事業費	予算額	1,335 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	6,560 千円	決算合計 0 千円

12	事業名	[継続] アキハウ ^{まい} ん米推進事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	可能性を生み出し・育て・活かす まち		
事業目的	全国的に主食用米の需要減少が顕著になっている現在、水田単作地帯の当区において、秋葉区の特色を生かした米の需要喚起について取組を行う。		
事業概要	<p>食生活についての意識が定着し始める年代を持つ家族を対象に、秋葉区で行われている米作りから、米への疑問、簡単レシピの紹介、米の消費について周知を行い、消費拡大の基盤を形成する。</p> <p>(仮称) ご飯がすすむおかずレシピブックの作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 秋葉区内の米づくり (JA新津さつきの米作り) 2. 米のQ A (米の栄養価、健康性) 3. 簡単レシピ集 (秋葉区版ごはんが進む料理、炊き込みご飯) 4. コメの消費 (米の品種による味の比較、米の豆知識) 		
最終 成果指標 目標	周知冊子を区内市立幼稚園、小学校、中学校に配布し、配布前後で100件ほどを対象にアンケートを行い「米についての関心及び意識」の理解が進んだ回答が8割以上となることを目標とする。また、周知冊子を配布・配置しPRに努めるとともに、需要喚起につながる事業に取り組む。		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	周知冊子 (レシピブックを主とした冊子の作成) を8,000部作成する。		
事業費	予算額	646 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	周知冊子配布後のアンケート (対象: 区内市立小学校児童、中学校生徒の各100件ほど) を行い「米についての関心及び意識」の理解が進んだ回答が8割以上であることを確認する。また、周知冊子を配布・配置しPRに努めるとともに、需要喚起につながる事業に取り組む。		
事業費	予算額	453 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1099 千円	決算合計 0 千円

13	事業名	[新規] アキハもち麦推進事業vol.2	
事業期間	令和 5 年度 ~ 令和 7 年度		
区ビジョン	可能性を生み出し・育て・活かす まち		
事業目的	機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興及び販売・消費拡大等に必要な支援を行う。		
事業概要	<p>第1期（R2～R4）が終了し、新たなステージ（第2期：R5～R7）に移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードメッセ出展、首都圏で開催されるイベント等、区内外でPRを行い、販路拡大を図る。 ・ 学校給食との連携、総合学習の開催、販促グッズの作成・配布等により消費拡大に努める。 ・ もち麦二次加工品の新商品開発を支援する。 ・ 農福連携の取組（ステップファーム）を支援する。 ・ 生産者と消費者との農業交流体験を実施する。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：13（R3年度11） ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：12 t（R3年度11.3 t） 		
R5 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：11 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：11.5 t 		
事業費	予算額	1,208 千円	決算額 千円
R6 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：12 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：11.7 t 		
事業費	予算額	1,210 千円	決算額 千円
R7 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数：13 ・ 「秋葉の里 白雪もち麦」年間販売数量：12 t 		
事業費	予算額	1,210 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,628 千円	決算合計 0 千円

